

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



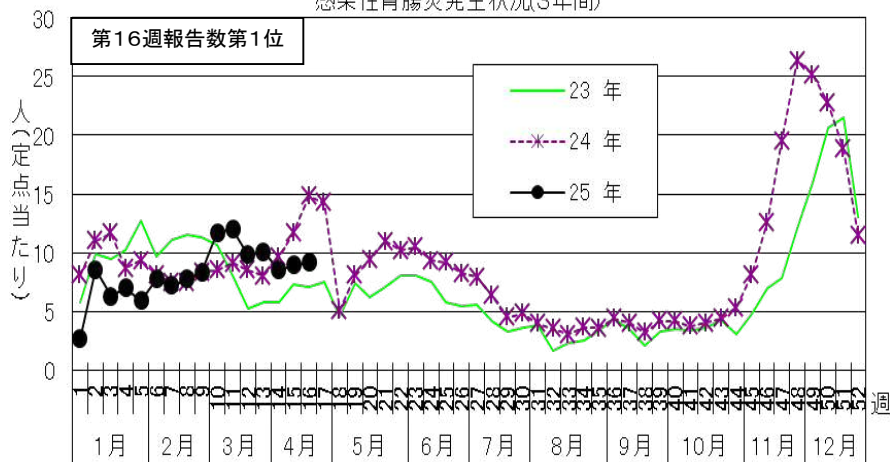
KAWASAKI CITY



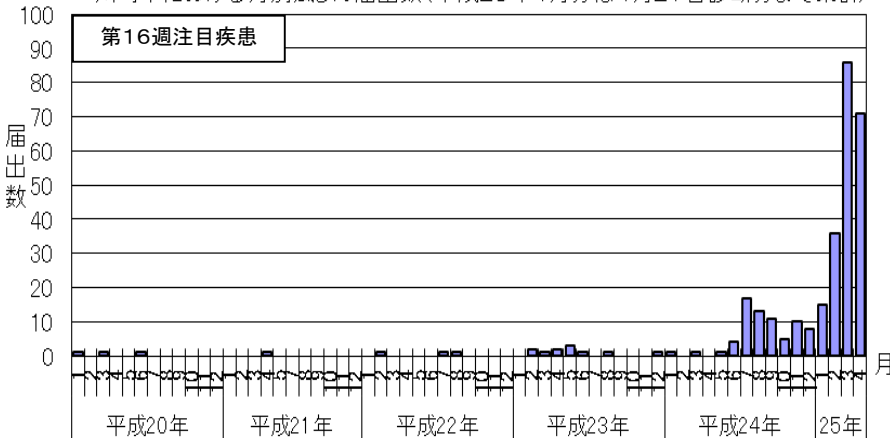
平成25年4月15日(月)～4月21日(日)〔平成25年第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。
 感染性胃腸炎は定点当たり9.18人と前週(8.97)より患者報告数はやや増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.79人と前週(1.97)より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 風しんの届出が25件あり、前週と比較すると届出数は増加し、依然として非常に高いレベルでの報告が続いています。そのため、引き続き発生動向に注意するとともに予防対策(ワクチン接種の検討等)の徹底が重要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年4月分は4月21日診断分まで集計)



鳥インフルエンザA(H7N9)の情報に注意！！

今般、中国において鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が報告されています。ゴールデンウィーク等に中国へ渡航される場合には、今後の情報に注意が必要です。なお、現時点では、ヒトからヒトへの感染は確認されていません。

鳥インフルエンザ対策



流行地では鳥に直接接触したり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。また、手洗いや咳エチケットをこころがけてください。

中国から帰国後10日以内に、発熱や咳などインフルエンザ様の症状が出た時は、最寄りの保健所に電話にて御相談ください。
 その際、中国に滞在していたことを教えてください。



インドネシアやエジプトなどでは、別の型の鳥インフルエンザ(H5N1)ウイルスの感染も報告されています。海外では、鳥などの動物が、日本で発生がない感染症の原因ウイルス等を保有している可能性がありますので注意してください。



患者等発生状況 平成25年4月22日現在(内閣官房新型インフルエンザ等対策室発表)

- 鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染が確定した者：102名(うち死亡者20名)
- 発生地域：上海市34名(うち死亡者11名)、北京市1名、江蘇省23名(うち死亡者3名)、安徽省3名(うち死亡者1名)、浙江省38名(うち死亡者5名)、河南省3名